



月根尾

10月

227号

～「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です～

2年生

生命地域学

中山間地域研究センター実習

9/15-16



森林セラピー



建設業体験



赤名湿地探索



畜産体験



鳥獣被害対策



木材加工体験

この実習は、【中山間地域の環境について理解を深め、環境問題や地域の課題解決に向けて自ら考える態度を育てる】ことを目的として、毎年2年生が行っています。

まず始めに、島根大学教育学部の作野広和教授に中山間地域の現状や課題について講義をしていただきました。人口減少が進む中、その要因となる自然動態や社会動態のメカニズムを学んだ後、“自分が町長だったら、飯南町の小中学校をどうしていくか”などのワークショップを行い、飯南町の将来について考えました。飯南町観光協会の伊藤様からは、今回全員が体験する「森林セラピー」の効果や体験者の利用状況について話をお聞きしました。

その後は、「鳥獣被害対策」「畜産体験」「木材加工体験」「森林セラピー」「赤名湿地探索」「建設業体験」の6つのテーマに分かれて実習を行いました。講師の方からテーマごとの現状の課題を教えていただき、課題解決の方法を考えながら体験しました。体験後は、グループごとに活動や考えをまとめ、発表を行いました。



森林セラピーや赤名湿地探索は、「町内にあるが初めて体験した」という生徒も多くいました。体験してみると「中山間地域の自然環境が整っていても、その環境を維持するために働く人が少ないことが問題」「中山間地域について知ってもらい、興味を持ってもらうためには、若い人同士で情報や意見を共有することが大切」など、課題を捉え、解決策も盛り込んだ発表につながっていました。建設業や畜産体験では、最新技術を取り入れて仕事の効率化を図られていることを学び、「印象が変わった」と話していました。ドローンや重機の操作など、高校ではあまり行うことのできない、貴重な体験をさせていただきました。木材加工体験では林業の現状を、鳥獣被害対策は私達の生活と密接な関わりがあることを、発表を通して2年生全体で共有することができました。

発表後に講師の方から講評をしていただきました。体験や講評を通して、中山間地域で働く方々が仕事にやりがいを感じ、誇りを持って働いておられることを身近で感じる機会にもなりました。

今年度は、体験するという活動が大きく制限される中、とても貴重な学びの時間となりました。お世話になった地域の皆様、ありがとうございました。



生徒の姿から、生徒の言葉から、**飯南高校を知ってもらおう!**

飯南高校をPR!

連携中学校 (頓原中学校・赤来中学校) 学校説明会 9/17

1学期は、頓原中学校にはオンラインで、赤来中学校には担当者が出席して学校説明を行いました。今回は中学3年生の皆さんに高校に来ていただき、実際に生徒が授業や部活動をしている様子を見てもらいました。

まず、習熟度別少人数授業や選択授業、中学校にはない商業科目の授業を見てもらいました。選択授業では2人で授業を受けているクラスもあり、手厚い指導に驚いたという中学生もいました。

その後は、高校2年生の町内生・町外生・県外生から、それぞれの立場で高校生活について話をしたり、中学生から質問を受けたりする時間を設けました。学習や部活動、人間関係の広がりについてなど、たくさん話を聞いてもらうことができました。高校生の実際の体験から聞く生の声は、中学生の皆さんに好評でした。

間近で見ってもらうことで、オンラインや口頭では伝わらなかった飯南高校の良さを見つけてもらえたのではないのでしょうか。今後の進路選択の参考にしてもらえたら嬉しいです。



▲ 1年生の習熟度別少人数授業(数学)の様子
1年生の数学は1学年を3つの班に分けて行っています



▲先輩から話を聞こう!
「課題は多いですか?」
「一番楽しい行事は何ですか?」
などの質問が出ていました

県外生対象オープンハイスクール 10/3



▲ 部活動見学(野球部)の様子



▲ 寮見学の様子

新型コロナウイルス感染症対策として、8月は島根県内の町外中学生を対象にオープンハイスクールを行いました。そして今回は、県外中学生を対象に開催しました。予想を上回る多くの生徒や保護者の皆さんに参加していただき、ありがとうございました。

例年よりも内容を縮小しましたが、一組一組面談を行い、知りたい点や疑問点を解消してもらう時間を設けました。

参加された方には、部活動説明での生徒の対応や挨拶をはじめとして、それぞれに飯南高校の良さを感じてもらえたようです。多くの高校が県外からの生徒募集を行っていますが、飯南高校の魅力を感じて選択していただける学校になればと思います。

1年生 生命地域学 しめ縄飾り作り体験 9/16

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった国際交流体験学習(台湾)に替え、10月8日、9日に1年生が青少年の家「サン・レイク」で宿泊研修を行いました。研修では【島根や地域の伝統文化と歴史を学び、理解と関心を深める】ことを目的の一つとしており、出雲大社への参拝も行いました。

宿泊研修の事前学習として、『飯南町大しめなわ創作館』から飯南町地域おこし協力隊の林さん、古賀さんのお二人を招いて、しめ縄飾り作り体験を行いました。

前半は、林さんからしめ縄の起源、飯南町でしめ縄を作り始めたきっかけなどをお聞きしました。飯南町と出雲大社の繋がりや、神楽殿に奉納されている大しめ縄についても詳しく教えていただき、伝統



文化の奥深さを感じることができました。

後半は、しめ縄飾り作りです。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、縄をなう作業はできませんでしたが、用意してくださった縄で輪じめを作り、短冊や飾り紐をつける作業を体験しました。誰に贈ろうか、どんな願いを込めようか、と悩みながら心を込めて作っていました。

飯南町の伝統文化や出雲大社とのご縁を学び、関心を深めて宿泊研修を迎えることができました。

球技大会 10/5

1学期は新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった球技大会でしたが、2学期はクラス対抗で開催することができました。男子はサッカー、女子はバレーボールと卓球を行いました。残念ながら、今年度は雲南地区高体連体育大会が中止となり、上位チームが出場することはできなくなりましたが、中間試験明けということもあり、発散して楽しみながら優勝目指して競っていました。

今年度も折り返しの時期です。3年生は、受験や就職試験に向けて頑張っています。球技大会でリフレッシュして、自分の目標に向かって進んでいてもらいたいと思います。



▲ PKでミラクルシュート★

献血に貢献! 10/6

今年も赤来ライオンズクラブ後援で、来島保健センターにて献血が行われました。400ml献血の対象となる男性17歳～、女性18歳～等の条件を満たしている3年生4名が献血を希望し、初めて体験しました。「献血を1回はやってみようと考えていた」という生徒や、「副作用が心配だった」という生徒もいました。献血をしてみると、イメージが変わったようで、「献血前の方が緊張した」と話し、採血中はリラックスして笑顔を見せてくれました。看護師さんが、「毎年飯南高校生が献血をしてくれて嬉しい」と話しておられました。血液を必要としている方のために、献血の輪が広がっていくことを期待しています。

受付の様子▶



▲ 献血車で



採血中は▶
リラックス

中庭のタイルがピカピカに☆

玄関前の石碑の洗浄に続いて、8月には中庭のタイルの洗浄を行い、タイルの色がとてもきれいになりました。実は、中庭のタイルにはデザインが施されています。飯南高校創立40周年記念誌には、【周囲の山並みや赤来町花のボタンをデザインしたタイル張りの中庭】と記載されています。しかし、その他のデザインについて触れられている資料はありませんでした。中心に植えられたドウダンツツジの周りのタイルのデザインに込められた意味など、ご存知の方はいらっしゃいますか…？



四方には山並みやボタンが

ご存知の方は
ご一報ください



卓球部

9/12

島根県高等学校卓球選手権大会

【男子シングルス】3名出場

1回戦敗退

【女子シングルス】5名出場

2回戦までに敗退

テニス部

9/19-20

島根県高等学校テニス新人大会出雲地区予選

【女子ダブルス】2ペア出場

岩本遙・塚本真央 ペア **ベスト16**

三嶋祐紀・片地ことの ペア **ベスト16**

【女子シングルス】5名出場

岩本遙 **ベスト16**

塚本真央 ベスト32

三嶋祐紀 ベスト32

上田詩乃 ベスト32



野球部

秋季野球大会一次

9/14

【2回戦】飯南 10-3 松江高専

秋季野球大会二次

9/20-21

【3回戦】飯南 6-5 安来

【準々決勝】飯南 3-7 立正大浜南

結果は… **ベスト8!!**



11月の主な行事予定



10月26日(月) 公開授業旬間(～11月6日)

11月 9日(月) 人権週間(～13日)

17日(火) 人権教育LHR

19日(木) 第2回防災訓練

試験発表

26日(木) 期末試験(～12月1日)



※年度当初の予定から変更になっています。
今後も変更になる可能性があります。